



各会計の当初予算状況

一般会計	28億9,653万円
特別会計	
国民健康保険会計	5億7,111万円
水道事業会計	1億5,709万円
学校給食会計	4,485万円
住宅新築資金等貸付事業会計	2,655万円
港湾整備事業会計	408万円

町民グラウンド・九町診療所を計画

ことしの一般会計 28億9,600万円

定住化促進事業を最重点に

無利子の資金新設

果樹振興資金

基礎産業の果樹振興対策の一として、栽培技術導入のための資金をお貸しいたします。資金の貸付を希望される方は、農協を通じて申し込んでください。面積は、おおむね五アール以上で、おおむね五アール以上を対象とし、最高百円以上、最低百円未満です。

▽対象地域 町内及び本町に隣接した地域

▽対象面積 町内最高十アール

▽貸付金額 おおむね五アール五畝以上の農地を有する方、標準事業費の三分の一以内で、百円が限度です。

▽貸付条件 資本金の範囲内で貸付決定を行います。(今年度三十万円)

▽償還期間 貸付を受けた翌月より起算し、二年間据え置き、以降五年間で均等償還していただきます。

▽償還免除 天災により、対象施設が崩壊し復旧の見込みがないときなど、し復旧の見込みがないときなど、償還免除となります。

▽対象農家 町内に居住し、主として農業に従事する方及び農業法人です。

技能習得資金

一人につき二万円加算、二月が限度です。

技能の習得のための訓練を受け、町内に居住する方に「技能取得資金」をお貸しいたします。金額は、一月最高十万円、訓練終了後六月以上町内に居住した場合は、五〇パーセント以内で免除される特典もあります。

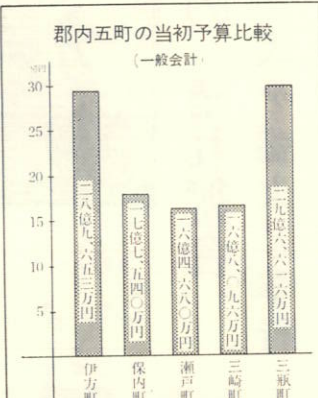
▽対象範囲 一、町内に六月以上居住して二、技能取得見込時の年齢が五十五歳未満であること。三、学校を卒業後一度就職した方、技能取得後再就職の見込がある方。四、扶養親族のある方。

▽貸付金額 一月十万円以内(算定内訳は、今年度二千二百円)

▽償還方法 訓練終了後六月を経過後、五年以内で均等償還をしていただきます。

▽償還免除 訓練終了後町内に居住し、六月以上経過した場合は、貸付金額の五〇パーセント以内で免除されます。

▽貸付範囲 資金の範囲内で貸付を行います。



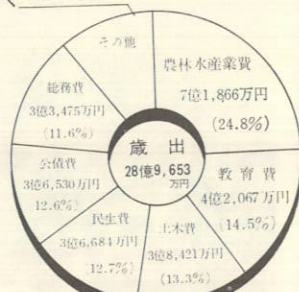
こんな事業を

右欄の円グラフから、今年度の主な事業をひろってみました。

農林水産業費 7億1,866万円

- 果樹振興モデル園新設 470万円
- 土壌改良(土づくり)補助金 333万円
- 果樹振興資金貸付金 3,000万円
- 集荷施設補助金 204万円
- 湊浦養豚団地整備費 9,135万円
- 農道開設補助金 300万円
- 農道負担軽減新設 802万円
- 南浦土地改良事業 3,050万円
- 町見中央農道接続線新設 1億7,054万円
- 九町黒岩農道改良費 1,600万円
- 南予用水事業推進基金積立 1,000万円
- 漁業振興補助金 330万円
- 鳥津漁港局部改良費 2,000万円
- 豊之浦漁港修築費(継続) 1億2,200万円
- 伊方漁港関連道整備費(〃) 7,000万円
- 九町漁港離岸堤新設費 2,000万円
- 教育費 4億2,067万円
- 奨学資金貸付金 2,300万円
- 豊之浦小学校集会所整備調査費 205万円
- 有寿来小学校 177万円
- 伊方中学校運動場整備拡張費 892万円
- 町見中学校プール整備費 4,037万円
- 公民館図書購入費 300万円
- 町見、二見公民館冷暖房設置費 800万円
- 町民会館記録映画製作費 550万円
- 運動公園基本調査費 294万円
- 小学生修学旅行補助金 1人 5,100円→7,000円に
- 中学生遠距離通学費補助金 1人 40,480円→60,500円に
- 青年団、婦人会、PTA補助金 平均17%増額
- 土木費 3億8,421万円
- 道路維持補修費 500万円
- 九町九町越線改良 8,640万円
- 大浜寺山線新設(継続) 2,000万円
- 42号線改良舗装(〃) 5,000万円
- 二見大松線改良(〃) 3,000万円
- 九町女子線改良(〃) 2,000万円
- 灘地区高砂対策事業費(〃) 8,500万円
- 伊方港港湾改修(〃) 4,500万円
- 民生費 3億6,684万円
- 重度心身障害者医療費助成 849万円
- 心身障害者福祉給付金 406万円
- 国民会計機出金 3,023万円
- 敬老会補助金(1,300円→1,400円) 197万円
- 長寿祝金(6,000円→7,000円) 179万円
- 老人医療費助成 5,838万円
- 児童手当金 3,676万円
- 公債費 3億6,530万円
- 総務費 3億3,475万円

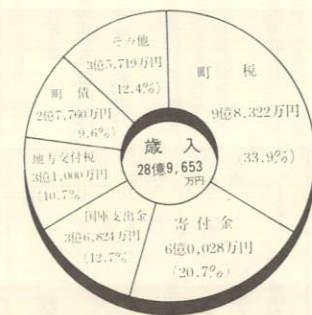
衛生費1億7,743万円(6.1%) 予備費1,000万円(0.3%)  
 議会費 5,960万円(2.1%) その他 56万円  
 商工業 2,667万円(0.9%)  
 消防費 2,070万円(0.7%)  
 労働費 1,114万円(0.4%)



「使うお金」

本町の歳入、他町村に比べると、このほかの項目は、国庫支出金、地方交付税、町債の順になっています。

「入ってくるお金」



町税が九億八千万円

入ってくるお金のトップは町税と自主財源が多く、国庫からの九億八千三百二十一万円。この交付金などが少ないのが特徴という約六千七百七十九万円、六億五千八百九十九万円が原子力発電所関係からの固定資産税です。また、二番目多い寄付金の六千八百九十九万円、のり四一パーセント、のり四一パーセントが地方交付税の依存率です。このほかの項目は、国庫支出金、地方交付税、町債の順になっています。

九町に内・外科診療所

来年四月開業めざす

国保会計

国民健康保険会計 予算額は、歳入歳出それぞれ五億七千三百七十一万円増えています。このうち当初予算では、九町の診療所を建設するための設計委託料四百七十四万円が計上されました。計画では、鉄筋コンクリート造り二階建て、一階に診療施設一階に病棟、建築面積は六百五十九平方メートル程度のもので、昭和五十八年四月開業をめざしています。

場所は今保地区(旧兵頭吉氏宅跡)を予定しており、旧町見支所から建設し、定地を通り町見中央農道を結ぶ、道路もできることになって

水道会計

水道事業予算額は、事業収益が六千三百二十九万円、資本的収入が三千三百八十円で合計一億五千七百九十九万円です。昨年にくらべ九千三百八十四万円増えています。今年度は、一般会計から八千万円の繰入れを行い、水道管の布設替えなどの施設整備を行います。

主なものは、亀ヶ池地区簡易水道の平石配水池移転、西久保地区配水池新設、川永地区配水池(本線三百メートル)布設替工事などです。



### ことしの消防団出初式

## 三好さんら六十七人表彰

一面で紹介した、ことしの消防団出初式で表彰された方々はつきのみなさんです。

▽日本消防協会会長表彰  
精誠章 三好章一(義浦)  
功勞章 岩井順久(二見)  
功勞章 井田芳生(須賀)

▽県消防協会会長表彰  
功勞章 飛田文博(義浦)  
功勞章 渡辺信昭(仁田之浜)  
勳章章 波戸福一郎(大浜)  
勳章章 鎌土勝利(義浦)  
勳章章 兵頭政昭(中浦)  
山内久男(中浦)  
渡辺久教(久保)  
川田邦男(古屋敷)  
仁田之浜(仁田之浜)  
中元一(仁田之浜)  
藤堂宣雄(河内)  
井上吉雄(小中浦)

▽町長表彰  
〔大浜〕中川明、矢野公朗、吉谷友一、袋口辰隆、新屋敷光政、谷藤短子(女子消防隊)  
〔中ノ浜〕竹中正彦、兵頭利和  
〔仁田之浜〕由井保吉、米沢裕子(女子消防隊)  
〔義浦〕井満、加藤由紀男  
〔小中浦〕大通源市、三好良治  
〔中浦〕矢野佐一郎、松下定広、井上利一

〔久保〕松田光一  
〔西ノ根〕根来伸男、徳田島男  
〔田之浦〕玉井清吉  
〔大成〕古田嘉宜  
〔鳥津〕二宮篤孝、道元伊勢夫  
▽無火災表彰  
三分団(仁田之浜)、第六分団(小中浦、第八分団(川水田)、第十五分団(西))

〔川水田〕松下義和、高月初彦、小池英鶴、大上美志  
〔豊之浦〕上田満、中川孝平  
〔伊方越〕兵頭慎一、神野和生  
〔義浦〕山口剛、宮本泰行、清水重雄  
〔大浜〕柳清浩、城崎秀礼  
〔西ノ根〕竹信(奥)  
〔西ノ根〕渡下博、川内邦彦  
〔奥〕真田泰雄、得能正  
〔須賀〕大橋伴久、米沢義彦

四月一日付で、役務の人事異動が発表されました。

町長事務部局  
総務課長 山口和哉(建設課長)  
税務課長 山田信夫(住民課長)  
福祉課長 福社課長

## 故郷の思い出

題字 福田 直吉(伊方町長)

今月から「故郷の思い出」と題して、町外で活躍の町出身者の方々に、本町に思い出のある方に登揚していただくコーナーを設けました。

第一回は、上田満茂さん(鳥津出身)をご紹介します。

今から五十有余年前のこと。私の母校二見小学校は、きれいな亀ヶ池が校庭に接し、冬は寒くない西風が吹き、初夏は涼しい緑が湖面に写っていたのを思い出します。

池にはボラ、ワカサギ、フナなどの魚が泳ぎ、たいへんのがな風景でした。

当時の通学は雨、雪、風、夏の暑い日も、毎日峠越えの山道(三キロあまり)を歩いて通学。卒業までの八年間、欠席は二十日足らずと記憶しています。



### なつかしき母校

上田 満茂 (兵庫県在住=鳥津出身)



古屋敷方面から撮影した、亀ヶ池と二見小学校の風景。上田さんの母校は100人です。

特に部落対抗のりレは熱が入りました。優秀な部落は、大いに加勢した。加勢した。年一度くらいは帰郷しますが、やはり母校はなつかしいものです。ただ、亀ヶ池は沼のようになってしまし、たいへんさみしい気がします。

昔の畑は、芋や蕎麦がかりでした。今はほとんど柑橘畑と化しています。

家屋も洋式が多くなり、食べ物から電製品など、都立の差はますます大きくなっています。

町の財政もたいへん裕福の様子が、施設もよ整備され頼もしく思っています。

保から  
係では、町外で活躍のみなさんが、幼い頃に遊んだ海や川、また本と通った学校のとなりにふるさと伊方のなつかしい思い出を募集しています。

原字力対策室(生活環境課長) 高月伸雄(企画財政課長) 産業課第一係長 大沼正一(同産業第二係長) 天徳英俊(同主任) 産業課第二係長 土井富美男(同技師) 建設課主任 松平秋生(同主任) 建設課主任 山本桂二(同主任) 保健センター主任 水田課主任 松下義和(同技師) 農業委員会主任 堀内久男(同主任) 生活環境課主任 森一美(建設課主任) 住民課 竹内朋美(豊之浦小学校) 総務課 谷口良二(新採)

## 人事異動

町長事務部局  
総務課長 山口和哉(建設課長)  
税務課長 山田信夫(住民課長)  
福祉課長 福社課長

山下和彦(政策室長) 住民課長 林 銀(町見支所長) 建設課長 西田忠明(産業課長) 産業課長 大森次郎(教育次長) 原字力対策室長 阿部喜光(福祉課長) 副次長 松田彦彦(生活環境課長) 南浦水対策室長 鎌土勝利(農委事務局長) 町見支所長

## 人権を 生かすも 殺すも 「きみ」と「ぼく」

人権に関する相談所は、毎月第三火曜日に開設しています。時間や場所はマイク放送でお知らせします。お気軽にご相談ください。

町人権擁護委員(山口 勇(二見))

## 「スポーツ」

このころ新聞、テレビなどをにぎわしているグリーンカード制度は、農協や銀行などの実施されるが、微妙な状況下で実施されるか微妙な状況下で実施されるか微妙な状況下で実施されるか...

## 「グリーンカード」とはこんな制度

現在の非課税貯蓄の制度は、今までの制度と変わります。たまたまの制度が実施されるグリーンカード制になり、最高三百円のマル優扱いをいっしょに受けるようになります。

カードの発行は、通称グリーンカードと呼び、正しくは、少額貯蓄利用者カード、といひます。

また、金融機関などで手続きを代行してくれるところもあるようです。この場合、預貯金口座には、窓口で預貯金を受けることができます。グリーンカード制度が実施されたら、窓口の交付を受けなければなりません。カードの交付を受けなければならない。おくと便利です。

